

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 &lt;半田市の玄関口にふさわしいまちづくり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在施行中である、名鉄知多半田駅前の土地区画整理事業を早期完了し、観光客を迎え入れる体制づくりをすすめる。</li> <li>・まちのマイナスイメージとなる自転車の放置や、施行中の区画整理に伴う空き店舗、空閑地の解消を図り、商業地に連続性、賑わいをもたらす。</li> <li>・本地区内の未整備の公園を整備することにより、訪れた人に憩いの場を提供できる環境を整えるとともに、災害時における周辺住民の避難所として防災機能の充実を図る。</li> <li>・H17年度完成の市街地再開発ビルに子育て支援施設を設置し、商業施設とともに賑わい創出の起爆剤とする。</li> <li>・今後予定されているJR武豊線の連続立体交差事業及びこれに関連したJR半田駅前地区の土地区画整理において「まちづくり」計画に住民が参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知多半田駅前土地区画整理事業(関連事業)・知多半田駅前地区市街地再開発事業(関連事業)</li> <li>・土地区画整理(基幹事業)知多半田駅前土地区画整理)・公園((基幹事業)おおまた公園他)</li> <li>・地域生活基盤施設((基幹事業)情報板、駐輪場整備)</li> <li>・高質空間形成施設((基幹事業)バスシェルター、ベンチ、エレベーター(知多半田駅))</li> <li>・道路(基幹事業)(都)名古屋半田線、(都)荒古線</li> <li>・まちづくり活動推進事業((提案事業)まちづくり協議会支援事業、市民活動支援事業)</li> <li>・地域創造支援事業((提案事業)名鉄知多半田駅内バリアフリー化事業(エレベーター他))</li> <li>・JR半田駅前地区土地区画整理事業(関連事業)、鉄道(JR武豊線)連続立体交差事業(関連事業)</li> <li>・市民交流センター公益床取得事業(関連事業)、人工地盤(駅舎から市街地再開発ビルへ)整備事業(関連事業)、子育て支援事業(関連事業)、人にやさしいまちづくりワークショップ支援事業(関連事業)</li> </ul>
<p>整備方針2 &lt;蔵のまち観光案内の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市機能の充実を図るとともに、半田運河、酢の里、酒の文化館、その他歴史文化施設など各施設をネットワークする散策ルートの策定及び明示を行い、観光客の増加を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観重点整備事業((関連事業)運河修景整備県施行)</li> <li>・地域生活基盤施設((基幹事業)情報板)</li> <li>・JR半田駅前地区土地区画整理事業(関連事業)</li> </ul>
<p>整備方針3 &lt;協働による"にぎわい"の創出&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の観光資源が比較的小規模であり、効果的な連携が果たされていないため、玄関口である名鉄知多半田駅から蔵のまち周辺地区、紺屋海道を通り赤レンガ建造物、旧中壱家住宅に至るルートを一連の観光施設として定着させるため、各所への案内板の設置に合わせ、官民協働による各種PRイベントを催すことによりまちの回遊性、滞留性を増進させる。</li> <li>・はんだ山車祭りを平成19年度に開催するため、半田のみならず知多半島の魅力を最大限アピールする各種イベントを展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵のまち協働まちづくり事業((関連事業)雛祭り、端午の節句、夏祭り、イルミネーション他)</li> <li>・地域創造支援事業((提案事業)有形民俗文化財保存伝承事業)</li> <li>・半田山車祭り実施事業(関連事業)</li> <li>・紺屋海道協働まちづくり事業(関連事業)</li> <li>・赤レンガ特別公開実施事業(関連事業)</li> <li>・地域生活基盤施設((基幹事業)情報板)</li> </ul>
<p>その他</p> <p>&lt;交付期間中の計画の管理について&gt;</p> <p>交付期間中において、事業の円滑な進捗と目標として掲げた「住民の生活の質の向上と地域経済の活性化を図る」ため、まちづくり推進監を中心とした庁内体制作りをし、計画の管理実施、関係他団体との連絡協議、進捗途中での事業の再評価等と共に住民への広報活動を続けていく。</p> <p>&lt;事業終了後の継続的なまちづくりについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 中心市街地活性化のための継続的な支援</li> <p>平成11年度に設立された、タウンマネージメント半田(TMO)と共に、市民、商業者と一体となって各商店街リノベーション事業、空き店舗対策、花いっぱい運動等ソフト事業を中心とした取り組みを支援していく。</p> <li>* 施設の清掃等への住民参加(半田クリーンボランティア)</li> <p>自分の部屋や家などをきれいにするように、子供のように愛着をもって公共施設もきれいに、との観点から半田市では平成12年度より市民に公共施設の里親になってもらい、ボランティアで公共施設の管理と美化をお願いする里親制度を開始しており、市民が自分たちの手で行うまちづくりのバックアップを続けていく。</p> <li>* 美しい景観作りのために</li> <p>良好で快適な景観の維持には、市民と力を合わせることで成り立つものであり、平成16年度半田運河周辺地区を景観重点整備地区に指定し、地区住民の意見を聞きながら地区の特性を活かした景観作りのための計画等を定めていく。また、景観アドバイザー制度により、継続的に美しい景観作りを支援していく。半田市都市景観基本計画は、平成5年3月に策定している。</p> </ul>	